

第 35 回 春季神奈川県小中学生女子アイスホッケー選手権大会

開催要項

1. 大会名 第 35 回 春季神奈川県小中学生女子アイスホッケー選手権大会
2. 主催 神奈川県アイスホッケー連盟(以下 KIHF と呼ぶ)
3. 主管 KIHF 競技本部小中女子競技委員会・普及委員会
4. 後援 相模原市スケート協会
5. 開催期日 2025(令和 7)年 4 月 19 日(土)～ 4 月 20 日(日)
6. 会場 相模原市 銀河アリーナ (相模原市中央区弥栄 3-1-6 淵野辺運動公園内)
7. 参加資格 神奈川県アイスホッケー連盟(以下 KIHF と呼ぶ)
[少年] [女子]に 2025 年度登録をしているチーム及び選手と役員
注 1 大会参加チームの選手・役員は「日ア連 Face-Off システム」により
2025 年 4 月 13 日までに県連宛到着したものを有効とし、大会出場を認める。
注 2 大会参加費および日ア連登録費未納チームは本大会については失格とする。
失格となったチームは第 36 回春季神奈川県小中学生女子アイスホッケー選手権大会
への参加資格を有しない。
注 3 県内 [少年] 登録チームは所属する選手について、大会期間中は県内チーム間での
移籍は原則認めない。
注 4 懲戒委員会に於いて出場停止等処分を受けたチームに所属した者は
たとえ他チームに移籍しても当該処分が終了するまでは、同処分が継承される。
注 5 不参加の連絡は、[info] の後に「@kihf.net」まで mail 連絡する事。
8. 参加チーム 【小学生高学年の部】 5 チーム
横浜 GRITS ジュニア、ヨコハマスターズ、慶應ジュニア、ハセガワオーシャンズ、
LP/BB/YP 合同
【中学生の部】 3 チーム
横浜 GRITS ジュニア、ヨコハマスターズ、LP/BB/HO/YP 合同
【女子の部】 4 チーム
昭和医科大学ブルーウィンズ、ハセガワウィチーズ、ヨコハマスターズブルーベル
BB レディース

9. 参加申込 参加チームは普及委員会にて前述の通りで申し込み確認済み。
選手登録は 2025 年 4 月 13 日迄に日ア連 Face-Off システムにおいて完了させること。
10. 参加費 クラス毎に設定した参加費、女子 70,000 円、中学生 74,000 円、高学年 66,000 円を
下記口座へ 2025 年 4 月 16 日(水)までに振り込むこと。
なお、期日までに入金確認の取れないチームは出場を認めない。
振込先：横浜銀行 本店営業部 普通口座 6097936
神奈川県アイスホッケー連盟 ハセガワ ノリヒコ
高学年のグループ A で順位決定戦に出場したチームは 1 試合分の追加費用¥30,500 円を
大会終了後 1 週間以内に振り込むこと。
11. 審判団 KIHF レフェリー委員会 日本アイスホッケー連盟登録レフェリー
12. 競技規則 下記に記載するローカルルールを除き原則として
国際アイスホッケー連盟 (IIHF) 国際競技規則に基づく。
- ローカル・ルール
 - a. 試合日程表の左側チームを仮ホームチームとし、ベンチは本部席より見て左側になる。
 - b. ホームの決定は、試合前のパケットスで決定する。(仮ホームが表裏を選択する)
 - c. ベンチには、GT2 名・スケーター 20 名の計 22 名、役員 8 名まで入る事が出来る。
 - d. 同一チームの場合、ユニフォーム・ストッキングは同一とし、ヘルメット・パンツは同色のもの
で揃える事。
 - e. 合同チームの場合、ユニフォーム・ストッキングは同一が望ましいが、予備等を使用しても
揃えることができない場合は、大会本部に報告の上で各所属チームのユニフォーム・ストッキ
ングの着用を可とする。ただし、合同チーム内で背番号が重複しない事とする。また、各所属
チームのユニフォーム・ストッキングは同一のものとする。合同チーム内でヘルメット・パン
ツ色が異なることは許可する。なお、大会本部もしくはレフェリーの判断によりベスト着用を
指示された場合は従うこと。
 - f. タイムスケジュールの試合開始時間は、目安の時間としている。
前の試合が早く終わった場合は最大で 20 分前倒しで試合を開始する。 試合状況は事前に確認
しておくこと。
 - g. 参加チームはスポーツ安全保険もしくは同等の補償がある保険に加入しなければならない。
 - h. オールメンバー表は試合開始 20 分前までに大会本部に提出すること。
13. 競技時間
【女子の部、中学生の部】
練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、各ピリオドインターバル 3 分。
タイムアウトはあり。

【小学生高学年の部】

- ・予選リーグ

練習 5 分、各ピリオド正味 13 分、各ピリオドインターバル 3 分。

タイムアウトはあり。

- ・順位決定戦

練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、各ピリオドインターバル 3 分。

タイムアウトはあり。

【全試合】

試合中点数差が 7 点ついた場合は、次のフェイスオフよりその試合終了までランニングタイムにて行うが、以下の運用ルールとする。

- ・点差が縮まった場合も継続とする。
- ・試合終了 2 分からはストップタイムとする。
- ・得点時は一旦止める。レフリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
- ・反則発生時は一旦止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
- ・選手が負傷し交代に時間を要する場合やチームからの質問などで時間を要する場合などは、レフリーの指示で時計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
- ・反則時間終了時にプレーが止まっていた場合は、その選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティーベンチから出られない。

14. 順位

【女子の部】

- すべての試合トーナメント戦とする。女子の部については順位決定戦を行う。
- 第 3 ピリオドを終了して同点の場合は、ただちに 3 名ずつの PSS を行う。

【中学生の部】

総当たり戦とし、順位づけは以下とする。

- 勝ち点制とし、勝ち点の多いチームから順位づけする。
- 勝ち点は、勝ちチーム 3 点、引き分けには各 1 点を与える。
- 勝ち点在同一の場合、勝利数の多いチームを上位とする。
- 勝ち点と勝利数が同一の場合は、次の規定の順番で上位を決定する。
 - ・当該チームの対戦成績
 - ・当該チーム同士の試合で得失点差の大なるもの
 - ・全試合の得失点差の大なるもの
 - ・全試合のペナルティ回数的小なるもの

【小学生高学年の部】

- a. 予選リーグおよび順位決定戦をおこなう。
- b. 予選リーグのグループ A の順位づけは中学生の部と同じとする。
- c. 予選リーグ B と順位決定戦については、第 3 ピリオドを終了して同点の場合は、ただちに 3 名ずつの PSS を行う。

15. オフィシャル当番

(ア) オフィシャル当番チームは、オフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者でその任に当たり、責任持って終了させる。

オフィシャル当番はスケート靴持参(6名以上)で試合開始 30 分前に集合し準備を開始すること。

(イ) オフィシャル当番が遅刻・欠席・人数不足等によりその任務を履行できなかったと大会役員により判断された場合、審議委員会において罰則を科す。

(ウ) 罰則の範囲は不履行により再試合となった場合、その費用負担から無期限の出場停止までとする。また、試合終了後 10 分以内にゲームシートを完成させること。

16. レフェリー

小学生高学年の部、女子の部についてレフェリー3人制、中学生の部については、レフェリー4人制で行うことを原則とする。

17. スーパーバイザー

- ゲームを円滑に運営することを目的として、各ゲームにつき1名ずつスーパーバイザーを置く。
- スーパーバイザーは、ゲームの運営に関し、会場関係者・レフェリー・オフィシャルと協調あるいは指示を出しその任に当たる。
- スーパーバイザーは、オフィシャルチームから1名派遣する。

18. 試合中の傷害

試合中に傷害を負った選手は所定の用紙を持ってスーパーバイザーに届け出ること。

傷害に関するデータは医事委員会に報告され、用具やルール改善の基本資料として活用される。

試合中に傷害を負った選手に対しては、所属チームが責任を持って対処すること。

また、スポーツ傷害保険に各チーム個別に付保すること。

19. 懲戒委員会 委員長 : 中島 透

委員 : 伊藤 一, 内田 貴典, 佐々木 暁, ほか1名

20. その他 要項に記載されていない不測の事態が発生した場合は、KIHF 競技委員会にて別途協議する。

春季小学生低学年選手権については別日開催とする。